

今年、異常なほどの猛暑続きですが、みなさんいかがお過ごしですか。かねてより問題となつている、びわ湖の水草の繁殖も今年は例年以上です。昨年の政府交渉でもこの問題を取り上げた日本共産党の小牧一美議員は10日、議会環境対策特別委員会で、赤野井湾と木浜内湖の水草繁茂の状態を視察しました(写真)。



びわ湖が水草で覆われる~!?



蓮に囲まれた烏丸半島



水面が見えない木浜内湖



赤野井湾には、法竜川、天神川、守山川など6本の一級河川と2本の準用河川が注ぎ込んでいます。河川からの富栄養化の原因となる窒素やリンを削減し、きれいになった水を琵琶湖に流す対策は一定進んでいるものの、水草の繁茂は改善する兆しが見えず、景観のみならず漁船の運航や水草が腐ったあとの悪臭など、悪影響を及ぼしています。特に水生植物園の蓮は地下茎が繁殖し、いまや烏丸半島をぐるりと囲むほどの勢いです。花が咲く今の時期は美しい景観でも、枯れた花や葉が湖岸に漂流する秋には景観を損なう状況です。



お花は美しいのですが...

佐川美術館裏の木浜内湖の現状は上写真の通り。毎年、一定除去しますが、根本的解決には至っていません。琵琶湖を含め一級河川の管理責任は、国と県にあり、守山市としても県に対策を要望していますが、なかなか進まないのが現状です。温暖化の影響もあり、琵琶湖全体の水草の繁茂状況は深刻。近畿の水がめでもある琵琶湖の環境をどう守るのが、国と県の対応が求められます。



児童虐待の相談急増

滋賀県中央児童相談所へ聞き取り調査

相談・支援体制
充実 急務

児童虐待の相談件数が急増しています。厚生労働省の調べでは2009年度全国では対前年度比3.6%増の44,210件。1990年度の調査開始以来19年連続で過去最多を更新。滋賀県では、前年度より467件多い2,802件もの相談が寄せられています。特に「保護の怠慢ないし拒否(ネグレクト)」が約半数を占めているのが特徴。年齢別では小学生以下が約8割となっています。日本共産党の小牧一美議員は、湖南地域の議員団と一緒に17日、滋賀県中央児童相談所を訪れ、実情を聞くとともに、相談・支援体制の充実を求めました。

日本共産党
守山民報

守山市議会議員
こまき一美
TEL・FAX 582-3785
<http://komaki.jcp-web.net/>

党守山市くらし対策責任者
まつば栄太郎
TEL 584-3077
FAX 584-3466

日本共産党守山市委員会発行 492号 2010・8・18 TEL 583-8552 FAX 583-1098

毎週木曜日 午後5:45~6:45 守山駅で街頭宣伝しています。